

実行プラン検討表「テーマ:子育て・教育」編

資料3-2

方策1 地域主催行事への積極的参加の推進

具体的な取り組み	内容	手法・スケジュール						まとめ		上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)					
		検討内容	3年後までに	進捗状況	検討内容	5年後までに	進捗状況	検討内容	10年後までに	進捗状況	理由等	現状	部会	評価	具体的な方法及び理由
①行事参加意欲の向上	地域行事の実態調査に基づき、地域情報紙の歳時記の充実を図るとともに、より魅力ある行事を開催することで、行事への参加意欲を向上させる。		・地域行事の実態調査(伝統行事の掘り起こし・絞り込みを含む) ・地域情報紙の歳時記を充実化	△ △		・魅力ある行事への転換	—				③-1 以前作成された冊子等に、地域行事の記載はあるが、現在も行われている行事かを調査、絞り込みを行う必要があるため。(復活させる行事がないかの検討も必要) ③-2 歳時記欄を再開する方向で検討中のため。 ⑤ 未着手	③-1 ・「上河内村史、町史」、「古老のはなし」などの冊子に伝統行事の記述あり。 ③-2 ・第1号～4号まで掲載していたが、第5号以降第12号までは、掲載していない。H27年度中に改めて掲載する方向で検討中。	安全・安心部会	A	・既存地域行事の実態調査を行い、把握(まとめ)することで、地域行事の掘り起こし(魅力ある行事)検討する
②伝統行事や伝統文化の伝承	伝統行事や伝統文化に関する「まち教授」を募集し、小中学校・幼稚園・保育園と連携して子どもたちに伝えていく。		・「まち教授」を募集	—		・伝統行事や伝統文化と学校教育の連携 ・学校等へ「まち教授」を派遣	△ —				③ まち時代には募集していたが、市になってからは行ってないため。 ⑤-1 資料館などで児童生徒を対象とした講座を開催しているため。 ⑤-2 未着手	③ ・上河内民俗資料館では、ふるさとの伝統行事と題して「十五夜・ぼうじぼづくり」、「繭玉づくり」とどんど焼き」などの講座を地元の方を講師に招いて実施している。 ・中里西組自治会では、「天下一関白流御神獅子舞」を伝承できるよう、踊り方等を1冊にまとめた。	安全・安心部会	A	・地域の中で特技を持っている人を募集(掘り起こし)して登録するとともに、学校と連携を図り、すでに学校が把握しているものも参考に上河内地区全体に提供出来るよう検討する
③親子ふれあいの場の提供	親子で参加できる行事を企画・開催し、ホームページや学校等で参加を促すことで、親子のふれあいの場を提供する。		・既存行事の把握(子ども会・育成会を含む)	△		・親子参加型行事を企画開催 ・ホームページや学校等で参加促進	△ —				③ 既存行事でも交流事業を行っているため。 ⑤-1 三世代交流事業を実施しているため。 ⑤-2 未着手	・既存事業において、子ども・保護者・高齢者が集い交流する三世代交流事業を実施し、ふれあいの場を提供している。	安全・安心部会	A	・地域を中心として伝統行事を守る気運を高め、そのような中で、親子のふれあいの場を提供する機会を確保することを検討する

※進捗状況欄の凡例 「○」完了、「△」実施中(実施に向けての検討を含む)、「—」未着手

※評価 A「可能」、B「一部可能」、C「不可能」

実行プラン検討表「テーマ:子育て・教育」編

方策2 地域の連携による地域交流活動の充実

具体的な取組み	内容	手 法 ・ スケジュール									まとめ		上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)		
		検討内容	3年後までに	進捗状況	検討内容	5年後までに	進捗状況	検討内容	10年後までに	進捗状況	理由等	現状	部会	評価	具体的な方法及び理由
④地域ぐるみのあいさつ運動 (オアシス運動※) の実施	あいさつ運動を実施するためのボランティアの募集や学校を通じた各家庭へのあいさつ運動チラシの配布により、地域・学校・家庭が一体となったあいさつ運動 (オアシス運動) を展開する。		・あいさつ運動ボランティアの募集 ・学校を通じたあいさつ運動チラシの配布 ・地域全体であいさつ運動を実施	△ △ △							③-1 地域の協議会などで実施しているが、更に拡充していく必要があるため。 ③-2 小・中学校が合同であいさつ運動を実施しているため。 ③-3 地域全体では実施していないが、地域によっては実施しているため。	・「上河内地区ほっとネット推進連絡会」の実践活動として「安心見守り協力員制度」がスタートし、「向こう三軒両隣の助け合い」の精神で、さりげない見守りや声かけを実践しており、今後、「地域ぐるみのあいさつ運動」につながっていくことが期待できる。 ・3小学校と中学校が合同で年2回「小中あいさつ運動」を実施している。 ・地域内では、具体的なあいさつ運動を、実施していないが、地域内各種団体の街頭活動等において、あいさつや声掛けなど自発的に行い、児童・生徒・地域住民とのコミュニケーションを図っている。	安全・安心部会	A	・地域協議会の協力を得ながら、子どもたちの自主的な運動につながるよう検討する
⑤地域ぐるみのラジオ体操の実施	学校と連携してラジオ体操を推進するとともに、地域における夏休みのラジオ体操の取り組みの統一を図り、地域全体のイベントに設定することで、一緒になって体を動かす機会を創出する。		・ラジオ体操の取り組み内容の検討 ・学校と連携したラジオ体操の推進	△ —			・ラジオ体操を地域全体のイベントに設定	—			ラジオ体操を実施している地域はあるが、更に取り組み内容の検討や学校との連携など、拡充していく必要があるため。	③-1 ・各自治会では、夏休み期間中、各自治会で「ラジオ体操」を実施。 ・地域内体育祭において、準備運動としてラジオ体操を行っているが、学校や地域イベントでの実施はしていない。	安全・安心部会	A	・地域全体のイベントで教えながら推進するとともに、学校と連携を図り運動会等の行事を通じて教えていくことを検討する

※オアシス運動・・・あいさつの言葉の頭文字をとったもので、オ「おはようございます」、ア「ありがとうございます」、シ「失礼します」、ス「すみません」を、日頃から言えるように心掛けるための運動

※評価 A「可能」、B「一部可能」、C「不可能」

※進捗状況欄の凡例 「○」完了、「△」実施中(実施に向けての検討を含む)、「—」未着手

実行プラン検討表「テーマ:子育て・教育」編

方策3 各種技能者・有識者による次世代を担う人材育成

具体的な取組み	内容	手法・スケジュール						まとめ		上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)				
		検討内容	3年後までに	進捗状況	検討内容	5年後までに	進捗状況	検討内容	10年後までに	進捗状況	理由等	現状	部会	評価
⑥各種育成講座の開催	さまざまな能力を有する方々の協力ののもとで各種講座を開催し、人材育成に繋げる。また、各学校に働きかけ、小中学生を対象に地域マップや名所旧跡DVDを活用した出前講座を開催し、地域の歴史文化などを次の世代に伝える。		<ul style="list-style-type: none"> さまざまな能力を有する方々の発掘 ニーズ調査 各種講座のメニューづくり 学校等への紹介 	—		△		△		<p>③-1 ③-2 未着手 ※募集や発掘、ニーズ調査はまだ行っていません。</p> <p>③-3 ③-4 ⑤ 教材として使用できる冊子やDVDなどがある。 また、生涯学習センターや保健センターなどで各種講座が実施されているため。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「ふるさとの名所・旧跡を訪ねて」、上河内の民話「昔語り語っぺよ」のDVD、上河内町の年中行事「自然への感謝と祈り」、上河内の民話・伝説「ある日 あの時」などの冊子、「梵天の里歩こうマップ」「宇都宮文化財マップ」がある。 	にぎわいづくり部会	A	<ul style="list-style-type: none"> ①部会で各種技能者（技術者）を発掘するための募集要綱・様式を作成する ②自治会回覧、チラシ等により募集をかけ各種技能者（技術者）の名簿を作成する ③小中学校、学習センター等で各種技能者（技術者）をPRする ④要請による指導者の派遣や、まち協主催の出前講座を開催する

※進捗状況欄の凡例 「○」完了, 「△」実施中(実施に向けての検討を含む), 「—」未着手

※評価 A「可能」, B「一部可能」, C「不可能」

実行プラン検討表「テーマ:子育て・教育」編

方策4 スポーツを通じた子どもたちの絆づくりの推進

具体的な取組み	内容	手法・スケジュール						まとめ		上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)					
		検討内容	3年後までに	進捗状況	検討内容	5年後までに	進捗状況	検討内容	10年後までに	進捗状況	理由等	現状	部会	評価	具体的な方法及び理由
⑦スポーツ参加機会の提供	子どもたちが気軽に参加できるようなミニサッカー・縄跳び・ドッチボールなどを地域行事に合わせて開催することで、スポーツへの参加機会を子どもたちに多く提供する。		・子どもたちが気軽に参加できるようなスポーツの内容を検討	△		・地域行事に合わせスポーツを開催	△				現在、スポーツ推進委員会の委員が、軽スポーツ、簡単にできるスポーツを普及させるための取り組みを行っており、自治会の行事の中でも実施しているため。	・宇都宮市スポーツ推進委員会上河内地区(6名)では、「誰もが、いくつからでも、いつでもできるスポーツ」で、競うことよりも、楽しむことを主としたスポーツであるニュースポーツの普及に取り組んでいる。 H27 連合自治会総会、H27 体協総会の機会にニュースポーツ数種目をPRした。また、「情報紙かみかわち」で記事を掲載し、7月12日に講習会を開催する予定。	文化・交流部会		
⑧地域資源を活かしたスポーツのできる環境づくり	スポーツ指導者の協力のもとで既存施設を活用したスポーツ教室の開設により、子どもたちがスポーツを始めきっかけづくりを支援する。また、地域スポーツクラブの設置等により、更なるスポーツの充実を図る。		・スポーツ指導者の発掘	△		・既存施設を活用したスポーツ教室の開催	△	・地域スポーツクラブの設置	—	③⑤ サッカー、テニス、学童野球などには指導者がおり、学校や運動場を利用して指導をしているが、更に埋もれている人材の発掘や普及活動を充実させていく必要があるため。 ⑩-1 ⑩-2 未着手	・スポーツ推進委員が中心になり、H26より体育祭審判協議会を発足させた。メンバー構成は、スポーツ推進委員OBもしくは同等の能力を持つものであり、スポーツ推進委員を退任した後にも、培った知識・技能を末永く地域に役立てていただくのがねらいである。現在は、地区体育祭への協力が主な活動だが、ボランティア活動として先述のニュースポーツの普及や地域スポーツクラブ設立の核となる活動の展開を目指している。	文化・交流部会	A	・体育祭で子どもから高齢者まで参加できる種目を予定している	

※進捗状況欄の凡例 「○」完了、「△」実施中(実施に向けての検討を含む),「—」未着手

※評価 A「可能」、B「一部可能」、C「不可能」

実行プラン検討表「テーマ:子育て・教育」編

方策5 地域における子育て支援の充実

具体的な取組み	内容	手法・スケジュール						まとめ		上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)					
		検討内容	3年後までに	進捗状況	検討内容	5年後までに	進捗状況	検討内容	10年後までに	進捗状況	理由等	現状	部会	評価	具体的な方法及び理由
⑨家庭教育力の強化	乳幼児を含めた子育ての実態調査を行い、調査に基づき子育て相談を充実することで、子育て中の保護者が安心して子育てができる環境をつくる。		・子育て実態調査	△		・調査を基にした子育て相談の充実	△				保健センターで子育て相談や指導を行っている。また、各種イベントなどを開催し、交流機会を提供しているほか、子どもの家などでも交流の場を提供しているため。	③ ・保健センターでの子育て支援事業として、「母子の健康教育(年16回)」、「離乳食教室(年4回)」、「すくすく広場(週2回)」、「親子の健康・栄養相談(月1回)」等。このほか面接や電話による相談、訪問指導を随時実施。	にぎわいづくり部会	C	・主体は行政と思われる ・できるのは、働きかけ ・現在は、「子育て広場」、「絵本の読み聞かせ」等の事業への協力の実施
⑩子どもの家の交流	上河内東小学校・上河内西小学校敷地内に子どもの家を整備し、放課後における安全で安心な生活の場を提供するとともに、地域にある3つの子どもの家が連携して合同事業を展開し、子育て中の保護者の交流機会を充実させる。 (合併市町村基本計画付議事項)		・上河内東小, 上河内西小の子ども家を学校敷地内に整備	○		・子どもを家のスタッフを対象に研修会を開催	△				③ 3小学校への整備完了	③ ・H26年2月完了。	安全・安心部会	A	・以前は、子どもの家の交流会を実施していたもので、再度実施することを検討するとともに、保護者の交流機会の充実について検討する。
						・上河内地区内3つの子どもの家が連携し、合同事業を実施	—				⑤-1 市全体のスタッフを対象に研修会や意見交換会などを実施しているため。	⑤-2 ・10年位前には合同で、壬生のおもちゃ博物館等に行っていた。			
						・保護者の交流機会の充実	—				⑤-2 まち時代は、合同事業を行っていたが、現在は、行っていないため。				
											⑤-3 未着手				

※進捗状況欄の凡例 「○」完了, 「△」実施中(実施に向けての検討を含む), 「—」未着手

※評価 A「可能」, B「一部可能」, C「不可能」